

平成 28 年 2 月 28 日 (日) 施行

第 142 回 日商簿記検定試験 3 級 解説

第 1 問

1. 前期末までに減価償却額は $360,000 \div 6 \text{年} = 60,000$ (1 年分)

(借) 減価償却費	60,000	(貸) 備品	60,000
-----------	--------	--------	--------

上記の仕訳を 4 年間行っている。

したがって、 $60,000 \times 4 \text{年間} = 240,000$

備品の帳簿価額は $360,000 - 240,000 = 120,000$

当期減価償却額は $360,000 \div 6 \text{年} \times 3 \text{か月} \div 12 \text{か月} = 15,000$ となる。

2. 本人負担の社会保険料＝社会保険料預り金、源泉徴収分＝所得税預り金で処理をする。

3. 受取利息は $400,000 \times 4.5\% \times 9 \text{か月} \div 12 \text{か月} = 13,500$ となる。

4. 支払手数料勘定がないので、手数料 11,000 を控除して計上する。

$(@950 \times 1,000 \text{株} - 11,000) - 830,000 = 109,000$

5. 帳簿は 116,000、

実際有高は $100,000 + 5,800 + 10,000 = 115,800$

実際有高に合わせるため現金 200 を貸方に記入する。

第 2 問

7 日 (借) 仕入 4,600 (貸) 支払手形 4,600
残高 数量 30 単価 220 (移動平均法) 金額 6,600

15 日 (借) 売掛金 6,600 (貸) 売上 6,600
残高 数量 10 単価 220 (移動平均法) 金額 2,200

18 日 売上値引は売価の修正なので商品有高帳には記載しません。

21 日 (借) 仕入 3,600 (貸) 買掛金 3,600
残高 数量 25 単価 232 (移動平均法) 金額 5,800

23 日 (借) 買掛金 1,200 (貸) 仕入 1,200
残高 数量 20 単価 230 (移動平均法) 金額 4,600

27 日 (借) 売掛金 5,100 (貸) 売上 5,100
残高 数量 5 単価 230 (移動平均法) 金額 1,150

28 日 B 品は A 品の商品有高帳には記載しません。

第3問

	借方科目	金額	貸方科目	金額
4日	支払家賃	18,000	前払家賃	18,000
7日	仕入	132,000	前払金	30,000
			買掛金	100,000
			現金	2,000
9日	仕入	180,000	当座預金	180,000
10日	支払手形	200,000	当座預金	120,000
			当座借越	80,000
11日	現金	200,000	売上	400,000
	売掛金	200,000		
	発送費	3,000	現金	3,000
13日	売上	10,000	売掛金	10,000
14日	当座借越	80,000	現金	205,000
	当座預金	125,000		
16日	仕入	200,000	受取手形	100,000
			支払手形	100,000
17日	備品	120,000	未払金	120,000
20日	当座預金	500,000	売掛金	500,000
	受取手形	120,000	売掛金	120,000
25日	買掛金	300,000	当座預金	300,000
	給料	120,000	所得税預り金	6,000
			当座預金	114,000
	水道光熱費	7,000	当座預金	30,000
	通信費	14,000		
	資本金	9,000		

第4問

(1) 集約方式による起票

売掛金	600,000	売上	600,000	… 振替伝票
現金	300,000	売掛金	300,000	… 入金伝票

(2) 一部現金取引ではない

備品	202,000	当座預金	202,000	… 振替伝票
----	---------	------	---------	--------

第5問

未処理事項・決算整理事項

1. 仮払金について

(借) 租 税 公 課	2,000	(貸) 仮 払 金	2,000
-------------	-------	-----------	-------

2. 売掛金の処理

(借) 当 座 預 金	13,000	(貸) 売 掛 金	13,000
-------------	--------	-----------	--------

3. 売上原価の算定

(借) 仕 入	50,000	(貸) 繰 越 商 品	50,000
繰 越 商 品	35,000	仕 入	35,000

売上原価： $\text{¥}50,000 + \text{¥}560,000 - \text{¥}35,000 = \text{¥}575,000$

4. 備品の減価償却

(借) 減 価 償 却 費	15,000	(貸) 備 品 減 価 償 却 累 計 額	15,000
---------------	--------	-----------------------	--------

減価償却費： $\text{¥}150,000 \div 10 \text{年} = \text{¥}15,000$

5. 貸倒引当金の設定

$\text{¥}600,000 \div 6 \text{年} = \text{¥}100,000 / \text{年}$

(借) 貸 倒 引 当 金 繰 入	600	(貸) 貸 倒 引 当 金	600
-------------------	-----	---------------	-----

差額補充法： $(\text{¥}73,000 - \text{¥}13,000) \times 2\% - \text{¥}600 = \text{¥}600$

6. 収益の見越

当期 11/1～12/31 までの 2 か月分の利息を未収利息として見越計上する。

1年間の利息額： $\text{¥}150,000 \times 6\% = \text{¥}9,000$

$\text{¥}9,000 \times 2 \text{か月} \div 12 \text{か月} = \text{¥}1,500$

(借) 未 収 収 益	1,500	(貸) 受 取 利 息	1,500
-------------	-------	-------------	-------

7. 費用の繰延

(借) 前 払 費 用	4,000	(貸) 支 払 家 賃	4,000
-------------	-------	-------------	-------

8. 費用の見越

(借) 給 料	6,000	(貸) 未 払 費 用	6,000
---------	-------	-------------	-------